

プレス型、鍛造型用材料と 表面処理技術の最新動向

日原 政彦*
日原技術士事務所

金型産業は製品製造の基盤を支える業種である。一方、2019年末に端を発する新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は現在も収束が見通せず、金型産業もリーマン・ショック以来の厳しい状況を呈している。

金型産業は地産地消を目的にアジア諸国、オセアニア、EU圏、南北アメリカなどに製造拠点を分散している企業が多く、サプライチェーンや人的往来が規制されて経済活動に大きな打撃をこうむっている。

*Masahiko Hihara：所長、九州工業大学 客員教授
〒405-0011 山梨県山梨市三ヶ所 856
TEL(0553) 22-4493

金型産業における工業統計（全業種）と機械統計（20人以上）の生産額推移（1989～2020年、工業統計の2018年は推定値）

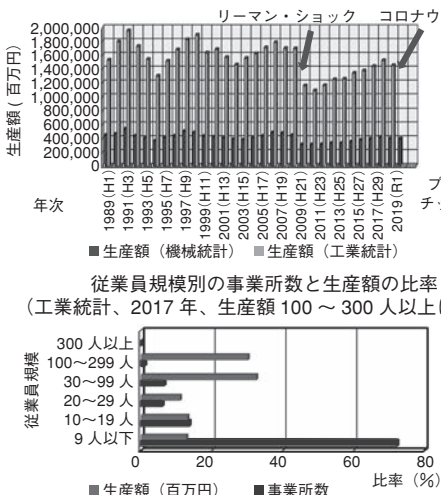


図1 金型産業の経済動向

図1に金型産業の経済動向（工業統計、機械統計）を示す¹⁾。現時点における生産額（同図左上）を見るとリーマン・ショック時に比べて落ち込みは少ないが、従業員規模が9人以下の中小企業が多い産業構造（同図左下）のために今後の落ち込み率は大きくなると予測される。

2020年4月と5月における金型産業別生産額（機械統計）を対前年（2019年）同月比で比較すると、全金型生産額は（4月/外販金額：95.2%、内製金額：112.3%、5月/外：91.2%、内：73.1%）となり、個別金型の生産額はプレス型（4月/外販金額：85.4%、

内製金額163.1%、5月/外：102.3%、内：94.7%）、鍛造型（4月/外販金額：83.7%、内製金額：81.1%、5月/外：57.2%、内：78.7%）、鋳造型（4月/外販金額：90.3%、内製金額：44.6%、5月/外：49.4%、内：24.4%）、ダイカスト型（4月/外販金額：104.8%、内製金額：99.1%、5月/外：74.3%、内：46.9%）、プラスチック型（4月/外販金額：103.2%、外販金額：88.4%、5月/外：95.3%、内：71.4%）、ガラス型（4月/外販金額：116.1%、5月/外：90.2%）、ゴム型（4